

高校生メディカル講座 in 北海道室蘭栄高等学校

令和3年9月17日（金）本校・視聴覚室を会場に、今年度も旭川医科大学教育センター講師の井上裕靖先生による高大連携セミナー（Zoom・Teamsなどを使用した遠隔授業）を実施しました。



今年度も、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、たとえ緊急事態宣言が発令・延長（実際延長）され講師の来校が困難となっても、あるいは学級閉鎖や学年閉鎖となったとしても、中止を回避できるように、本校生 53 名が「BYOD1人1台端末機器」体制で取り組みました。今回の講座を皮切りに、同講座第2回(11月)・第3回(12月)・医学部卒業生(12月)と語る会など、この後、5つの医進類型イベントを予定していますが、今回の講座は、万一の場合でも、それらに生徒が自宅からでも参加できるための基礎練習を兼ねる開催となりました。講義「医療者を目指す生徒さんへ～生命倫理を考える～」の後、グループワーク「生体肝移植～その具体症例について考える～」として「息子A君はドナーになるべきか」「息子A君がドナーとなった場合、どのようなことが問題となるか」など、絶対唯一の正解がない問いについてディスカッションを行いました。なお、地元の6中学校から16名の中学生の皆さんにも遠隔でご参加いただきました。